

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公開番号】特開2008-244613(P2008-244613A)

【公開日】平成20年10月9日 (2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-79448(P2007-79448)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 6 T 1/00 5 1 0

H 0 4 N 1/40 D

B 4 1 J 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月26日 (2010.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

獲得手段が、異なる照明光をミックスした照明光下で画像出力機器のデバイスカラーのカラーパッチの測色値を得る工程と、

作成手段が、前記得る工程で得られたカラーパッチの測色値から色変換定義を作成する工程と

を有することを特徴とする色変換定義の作成方法。

【請求項 2】

前記ミックスした照明光は、少なくとも第一の照明光と前記第一の照明光とは異なる第二の照明光をミックスした光であることを特徴とする請求項 1 に記載の色変換定義の作成方法。

【請求項 3】

前記第一の照明光、前記第二の照明光は F 8、F 10であることを特徴とする請求項 2 に記載の色変換定義の作成方法。

【請求項 4】

前記測色値を得る際に、前記照明光が変わった場合のデバイスカラーの色域毎の見え方の変化の大きさによって前記照明光のミックス比率を変更することを特徴とする請求項 1 に記載の色変換定義の作成方法。

【請求項 5】

前記色変換定義は、ルックアップテーブルもしくはマトリックスであることを特徴とする請求項 1 に記載の色変換定義の作成方法。

【請求項 6】

異なる照明光をミックスした照明光下で画像出力機器のデバイスカラーのカラーパッチの測色値を得る獲得手段と、

前記獲得手段で得られたカラーパッチの測色値から色変換定義を作成する作成手段とを有することを特徴とする色変換定義の作成装置。

【請求項 7】

前記ミックスした照明光は、少なくとも第一の照明光と前記第一の照明光とは異なる第二の照明光をミックスした光であることを特徴とする請求項 6 に記載の色変換定義の作成装置。

【請求項 8】

前記第一の照明光、前記第二の照明光は F 8、F 10 であることを特徴とする請求項 7 に記載の色変換定義の作成装置。

【請求項 9】

前記測色値を得る際に、照明光が変わった場合のデバイスカラーの色域毎の見え方の変化の大きさによって前記照明光のミックス比率を変更することを特徴とする請求項 6 に記載の色変換定義の作成装置。

【請求項 10】

前記色変換定義は、ルックアップテーブルもしくはマトリックスであることを特徴とする請求項 6 に記載の色変換定義の作成装置。

【請求項 11】

請求項 1～5 のいずれかに記載された色変換定義の作成方法の各工程をコンピュータに実行させるための処理プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像出力機器の色変換定義の作成方法、作成装置及びそのプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明に係る色変換定義の作成方法は、獲得手段が、異なる照明光をミックスした照明光下で画像出力機器のデバイスカラーのカラーパッチの測色値を得る工程と、作成手段が、前記得る工程で得られたカラーパッチの測色値から色変換定義を作成する工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】